

本模擬問題における問題等の著作権はすべて東京CPA会計学院に帰属します。無断転載・二次利用は固く禁止いたします。

第1問 [各④点、合計20点]

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	クレジット売掛金 支払手数料	686,000 14,000	商品売買品益	500,000 200,000
2	減価償却費 減価償却累計額 未決算 火災損失	60,000 1,920,000 660,000 360,000	建物	3,000,000
3	備品	1,200,000	当座預金 未払金	500,000 700,000
4	租税公課	31,480	未払消費税	31,480
5	子会社株式	450,000	その他有価証券 普通預金	30,000 420,000

第2問〔丸数字は点数を示す、合計20点〕

問1

課税所得計算表 (単位：千円)

(❶ 税引前当期純利益)	[❶ 160,000]
加算項目	
貸倒引当金損金算入限度超過額	[❶ 1,100]
賞与引当金損金不算入額	2,500
減価償却費の償却限度超過額	[❷ 9,680]
商品評価損損金不算入額	[❶ 10,000]
交際費損金不算入額	1,500
減算項目	
受取配当金益金不算入額	2,080
課税所得	[❶ 182,700]

問2 (❷点)

54,810 千円

問3 (につき❶点)

税効果会計は、企業会計上の (**資産**) または (**負債**) の額と課税所得計算上の (**資産**) または (**負債**) の額に相違がある場合において、法人税等の額を適切に (**期間配分**) することにより、法人税等を (**控除**) する前の当期純利益と法人税等とを合理的に (**対応**) させることを目的とする手続きである。

問4 (各❸点)

法人税等調整額	△ 6,984 千円
繰延税金資産	5,634 千円

第3問 [につき2点、合計20点]

連結損益計算書

P社	自 X4年4月1日 至 X5年3月31日	(単位：千円)
I 売上高	(1,549,200)	
II 売上原価	(842,300)	
売上総利益	(706,900)	
III 販売費及び一般管理費		
その他営業費	631,450	
(のれん償却)	(2,750)	(634,200)
営業利益	(72,700)	
IV 営業外収益		
受取利息	(350)	
V 営業外費用		
支払利息	(2,700)	
当期純利益	(70,350)	
(非支配株主) に帰属する当期純利益	(3,000)	
(親会社株主) に帰属する当期純利益	(67,350)	

連結貸借対照表

P社	X5年3月31日 現在		(単位：千円)
借方科目	金額	貸方科目	金額
諸資産	2,568,180	諸負債	2,458,300
売掛金	(81,000)	買掛金	(81,000)
貸倒引当金	(△ 1,500)	前受収益	(150)
商品	(115,100)	長期借入金	(100,000)
前払費用	(420)	資本金	(150,000)
有形固定資産	(446,000)	資本剰余金	(80,000)
減価償却累計額	△ 297,450	利益剰余金	(86,200)
(のれん)	(49,500)	(非支配株主持分)	(19,800)
長期貸付金	(14,200)		
	(2,975,450)		(2,975,450)